

緑化だより

No.124 平成29年1・2月号



タチバナモドキ

今年もよろしくお祈いします

園内は凍結していることがあります。
ご来園の際はご注意ください。

- 季節の花(コウヤボウキ)
- 野鳥の世界(カケス)
- 昆虫の話(物置の銀河)
- 研修会のご案内
- 展示会
- お知らせ・ご案内



ryokka 緑学の本
広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園
〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

季節の花

コウヤボウキ

「初春の 初子の今日の 玉ばはき 手に取るからに ゆらく玉の緒」

大友家持 万葉集 巻20 : 4493

758年(奈良時代)の正月三日に、天皇の御所で、玉箒のお題で詠いました。

新年の最初の子(ね)の日に宮中へ参列した人には、コウヤボウキの茎を束ねたものに繭玉(まゆだま)や、ガラスの玉を飾り付けた「玉箒」が授けられました。「ほうき」を手に取るだけで、ゆらゆら揺れて鳴る玉の緒のようです。「玉の緒」は「魂の緒」という意味で、生命・いのちを表しました。その儀式用の玉箒1号が、奈良県の正倉院に「子日目利箒(ねのひのめとぎほうき)」として納められています。

かつて和歌山県の高野山には、弘法大師の教えにより「禁忌十則」という戒律がありました。利益を得る行為を戒めるという意味で、竹、梨、胡桃、桃などの商品作物の栽培が禁止されていました。そのため、竹のほうきを作ることができず、代わりにコウヤボウキの枝を束ねて作ったことが、高野箒(こうやぼうき)の由来です。

コウヤボウキは、やや乾いた明るい雑木林の林床や林縁で、特にアカマツ林に生育します。一見、草本ですが、複数の細い枝を四方に伸ばして、背丈は50~100cmほどになるキク科の落葉低木です。10月頃に、1年目の枝の先に白から薄紅色の花を付けます。関東以西、四国、九州、中国地方の海岸からブナ帯下部まで自生しています。

冬の到来が感じられる12月ごろに里山を歩いていると、タンポポのような、わた毛がついたコウヤボウキの果実を観察することができます。果実は風に乗って飛んでいき、子孫を残します。枝の寿命は2年で、冬に落葉して越冬し、春になると株元から新しい枝が伸びて花を咲かせます。

緑化センターでも、明るい林縁で見られます。今年のお正月は、いにしえの初春をお祝いする宮中の行事に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。(上村)



コウヤボウキの花



コウヤボウキの果実

野鳥の世界

カケス

里から山に向かって歩いていると、山際では畑地や草地の広がる様子が見られます。日本列島の原風景でもあります。そこに見られる野鳥の代表がホオジロで、四季を通じて棲みついています。林に入ると、メジロ、ウグイス、エナガ、ヤマガラなどが確認できます。その次に続く植生は、リョウブ、ミズキ、ホオノキ、トチノキ、シデ、アラカシ、スギなどで、このあたりにカケスは常住しています。これらの小鳥類は、それぞれ特徴のある活動

パターンをもっていて、注意して観察するほど興味深い生活パターンが見えてきます。

カラスの仲間で雑食性のカケスは、木の実、昆虫、両生類と餌の種類が多いため、色々な環境に適応しているようです。鳴き声は“ジャー・ジャー”としわがれた声で、野鳥の声とは思えない悪声ですが、メジロやキビタキの鳴き真似をするときは、やさしい上品な声を出し、聞く人を惑わします。



カケス

緑化センターにも常住していて、鳴き声を聞いたり、姿を見ることができます。単材を運ぶ姿や水浴び、砂浴びをしているところは確認しているので、繁殖している場所を探してみるのですが、営巣はまだ確認していません。翼の色合いも美しく、ブルーと黒のしま模様は際立ってよく見え、強い印象を残します。まず、その鳴き声をおぼえて、姿を探してみましょう。(吉見)

昆虫の話

物置の銀河

寒い寒い冬ですが、家の中などの人の生活場所は暖かく、越冬のために様々な虫たちがどこからともなくやってきます。年末の大掃除の際、普段は締めきったはずの物置の戸を開けると、中にはおぞましい数の虫の群れが・・・という経験をしたことのある人もいるかもしれません。

冬に集まって越冬する昆虫はいくつか知られていますが、その中でも一番有名なのは、やはり「テントウムシ」でしょう。小さく丸い体にオシャレな赤や黒の星を散らしたこの虫はとても人気のある昆虫です。テントウムシは、集団で草木の汁を吸い枯らしてしまいうアブラムシを食べる「益虫」としても有名です。暖かい季節には日当たりのい



窓のサッシで越冬するナミテントウ

い植物の上で、もりもりとアブラムシを食べる姿を見かけます。赤や黒の目立つ体色は、その不味さを天敵に知らせます。脚の付け根から出す黄色い汁はものすごく苦く、まずい味がします。虫が大好きな小鳥ですら吐き出してしまうほどです。

冬になると、テントウムシは暖かい越冬場所を求めて、人家の物置や窓枠、果ては部屋の隅まで、どこから湧いて出て来たのかというほどたくさんの数が集まってきます。ひとつひとつは可愛らしいこの虫も、たくさんの数が集まるとさすがにおぞましく感じてしまいます。赤や黒の星が集まっている様子はまるで銀河の様とはいかないようで、大掃除の時には塵や埃と一緒に寒空のもとへと掃き捨てられてしまうでしょう。

寒空に放り出された彼らはいったいどうするのでしょうか？何のことはありません。大掃除が終われば、気がつかない間にまた元の暖かい越冬場所に戻り、そこで春が来るのをじっと待つのです。(広島市森林公園こんちゅう館 藤井)

研修会のご案内

- | | |
|--|--|
| <p>○ 1月6日(金)『春の七草 学んで試食』
間違えると危険な七草によく似た植物
※定員に達したため締切りました</p> | <p>10:00～12:00 学習室 集合
講師：緑花文化士
横山 直江</p> |
| <p>○ 2月5日(日)『春の接木教室』
バラの接木をしてみよう
※要予約(先着30名)、材料費500円、ナイフ持参
1月4日(水)より受付</p> | <p>10:00～12:00 学習室 集合
講師：NPO法人樹木医 ひろしま理事長
溝口 幸平太</p> |
| <p>○ 2月26日(日)『ジャンボ椎茸植菌教室』
植菌体験とほだ木を持ち帰り家庭で栽培
※要予約(先着30名)、材料費800円
1月4日(水)より受付</p> | <p>10:00～12:00 学習室 集合
講師：日本きのこセンター三次支所長
影井 和男</p> |
| <p>○ 3月15日(水)『コケの観察会』
小さな世界から大きな世界へ
※自由参加、無料</p> | <p>10:00～12:00 学習室 集合
講師：広島大学名誉教授
関 太郎</p> |
- 臨時研修会**
- | | |
|--|--|
| <p>○ 3月15日(水)『サクラあれこれ』
サクラの品種や手入れについて学ぼう
※自由参加、無料</p> | <p>13:00～15:00 学習室 集合
講師：樹木医
正本 大</p> |
| <p>○ 3月17日(金)『早春の写真教室』
ツバキを撮ろう
※要予約(先着20名)、無料、デジタルカメラ持参、
2月1日(水)より受付</p> | <p>10:00～12:00 学習室 集合
講師：二科会会員
宗岡 泰昭</p> |

◎ 展示会 場所:レストハウス

(ガラスケース展示)

・バード&フィッシュカービング作品展

1月8日(日)～3月12日(日)

(ボード展示)

・緑化センター写真コンクール応募作品展

～1月29日(日)

・緑化ポスター原画コンクール作品展

2月1日(水)～3月15日(水)

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

12月29日～1月3日は休園します

～森林公園イベント情報～

1月8日(日)・9日(月・祝)

・“新春お年玉プレゼント” 対象;小学生以下(先着200名)

・“年明けうどん” 対象;どなたでも (先着300食・1杯200円)

1月14日(土)・15日(日)

・“おもちをついて食べよう” 対象;どなたでも
(ぜんざいは先着300食程度)

2月11日(土・祝)・12日(日)

・“バレンタインデーを楽しもう” 対象;カップル
(両日とも記念品先着100個)

他にも盛沢山のイベントがあります。

詳細は、森林公園 H.P 等でご確認ください。



昨年の「バードカービング作品展より」

このポスターが掲示している場所で耳マークを指し示していただけましたら以下のことに心がけて対応します。

- ・大きな声でお話します。
- ・はっきりと口元を見せてお話しします
- ・身振り等も交えて対応します

すべての入場者に対して、安心してご利用いただける施設運営に取り組んでいます。

百の千自由な方は
承認しますので
お申し出ください

